

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 1 日

| | | | | |
|----------|---------|---|----|------------|
| 仕事の内容 | 商工会補助事業 | | | |
| 担当部署・課長名 | 産業振興 | 課 | 商工 | 係 課長名 小川 泉 |

| | | | |
|-------------------------------|----------------|-------|-------|
| この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 | 施策番号 | 3 - 4 | 3 - 5 |
| 【施策名】 工業の振興、商業の振興 | 総合計画書 (ページ) | 75 | 77 |

| | | | | |
|-----|---------|---------|-----------|---------------|
| 予算名 | 款 7 商工費 | 項 1 商工費 | 目 2 商工振興費 | 事業 2 商工会補助事業費 |
|-----|---------|---------|-----------|---------------|

| | | | |
|--------------|---|---|--------------------------------------|
| 1 この仕事の目的 | ① 誰(何)を対象にしていますか。 東大和市商工会員の事業者 | → | ① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 会員数 |
| | ② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 商工業の振興を図る。 | → | ② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 経営指導件数 |
| | ③ そのために何をしましたか。 補助金の交付 | → | ③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 補助金額 |

| | | | | | | | | |
|------------|------|-----------|--|------------|------------|------------|----------|--|
| 2 指標の推移 | | 単位 | 平成28年度実績 | 平成29年度実績 | 平成30年度実績 | 平成31年度目標 | 平成32年度目標 | |
| | 対象指標 | ①の数値 | 人 | 940 | 929 | 935 | | |
| | 成果指標 | ②の数値 | 件 | 1,316 | 1,292 | 1,291 | | |
| | 目 標 | ②の目標値 | | | | | | |
| | | 目標値設定の考え方 | 商工会を通じて、経営指導等を実施することで市内事業者の経営基盤の安定を図る。 | | | | | |
| | 活動指標 | ③の数値 | | 10,069,500 | 10,180,000 | 10,180,000 | | |

| | | | | | | | |
|---------|---------|-------------|------------|------------|------------|------------|---|
| 3 経費 | 事業費(実績) | | 円 | 10,069,500 | 10,180,000 | 10,180,000 | ※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。) |
| | 財源 | 一般財源 | 円 | 10,069,500 | 10,180,000 | 10,180,000 | |
| | | 特定財源 | 円 | 0 | 0 | 0 | |
| | | (うち受益者負担) | 円 | 0 | 0 | 0 | |
| | 人件費(目安) | 所要人数(再任用以外) | 人 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | |
| | | 所要人数(再任用) | 人 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 事業費+人件費 | | 円 | 14,203,000 | 14,306,500 | 14,302,000 | | |

| | |
|--------------|----------|
| この仕事における市の裁量 | 市の裁量は大きい |
|--------------|----------|

| | |
|-----------|--|
| 4 環境変化 | この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 昭和42年に東大和市商工会設立。東大和市内の商工業の振興を図ることを目的としている。 |
| | 開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 商工会の会員数については、組織率38%前後と厳しい状況が続いている。 |
| | |

| | | | | |
|-----------|---------|---|----|------------|
| 仕 事 の 内 容 | 商工会補助事業 | | | |
| 担当部署・課長名 | 産業振興 | 課 | 商工 | 係 課長名 小川 泉 |

| | | | | |
|---------------------------------|---|--|--|--|
| 5 市 民 等 の 意 見 | この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について | | | |
| | 商工会への補助金支出を通して市内事業者への支援を図っている。平成30年度についても、予算要望時に商工会からは複数事業に係る予算要望をいただいたが、現状からの予算増額は難しいため、要望を受けたすべての事業に対する予算計上及び支出はできていない。その中でも、若手技術者育成事業と、空き店舗活用事業については、平成28年度から引き続き補助金を支出し、一定の効果をもって実施された。 | | | |

| | | | | |
|-----------------------|--|------|---|--|
| 6 市 民 協 働 | (1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可） | | | |
| | 取組みは無い | 取組手法 | 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ） | |
| | (2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 | | | |

| | | | | |
|-------------|--|--|--|--|
| 7 課 題 | (1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容 | | | |
| | 商工会を通じて市内の事業者の支援を実施しているところではあるが、組織率(約38%)が低く、一部の事業者の支援になりかねない。 | | | |
| | (2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 商工会が創業支援事業の協力機関として、創業希望者の相談に親身に乗り、その方の創業に結び付いた。その後その相談者が商工会に入会した事例があった。この取組みは入会促進の方法としても有効な事例だと考える。今後も各事業者に寄り添った業務を行っていただけるよう、市としても協力していきたい。 | | | |

| | | | | |
|---------------------------------|--|--|--|--|
| 8 今 後 の 方 向 性 | (3)(2)を踏まえた今後の課題 | | | |
| | 短期的に組織率を上げるのは現実的ではない。一件一件の相談事務や、新規獲得への積極的な働きかけを継続し、確実な会員獲得及び会員数増加が課題であり、その実現の為に、市としての具体的な協力方法を検討していかなければならない。 | | | |
| | (1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 商工会と更なる連携強化を図り、組織率の向上に向けた具体的な取組みを、定期的に商工会と検討していく。 | | | |
| | (2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 商工会とは、連携を密にして様々な事業を共に行っているが、お互いに各事業の情報交換が主であり、会員獲得に向けた具体的な話合いの機会は今中々持っていない。今後は改めて、その機会を設け、互いに情報共有を図っていく。 | | | |

| | | | |
|---|-----------|----|-------------|
| (3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。 | | | |
| 成果 | 成果を向上させる。 | 経費 | 仕事の経費は維持する。 |